

Coffee Market Report

July 2023



INTERNATIONAL
COFFEE
ORGANIZATION

7月のICO複合指標価格は、アラビカに牽引され終盤には 上昇に転じ下落幅を縮小した

- 7月のICO複合指標価格(I-CIP)は6月から7.2%下落し、月間平均は171.25セント（USセント/ポンド、以下同様）、中央値は158.4セントだった。
- 全てのグループ指標価格が下落した。最も下落したのはコロンビアマイルドで10.0%下落して190.58セントだった。一方、ロブスタの下落は3.4%で最も小幅で127.58セントだった。
- コロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差は165.2%縮小してマイナス2.91セント（逆転）となった。
- ロンドン先物市場とニューヨーク先物市場の間で測定された裁定取引は、ロンドンロブスタの価格変動がニューヨークアラビカを上回ったため16.9%縮小し45.95セントだった。
- I-CIPのボラティリティは一貫して下降し、7月は0.3ポイント低下して7.8%だった。
- ニューヨークとロンドンの認証在庫はそれぞれ2.9%と29.4%減少し、ニューヨークアラビカは58万袋、ロンドンロブスタは89万袋だった。
- 2023年6月の世界のグリーンコーヒー輸出量は939万袋で前年同時期の1,006万袋から6.7%減少した。
- アザーマイルドの2023年6月輸出量は232万袋で前年6月の288万袋から19.3%減少した。
- ブラジルナチュラルの6月の生豆輸出量は7.6%減の250万袋だった。
- コロンビアマイルドは2022年6月の97万袋から2023年6月は84万袋へ13.0%減少した。
- ロブスタ生豆輸出量は、2022年6月の351万袋から2023年6月は372万袋となり6.1%増加した。その結果、2022年10月から2023年6月までの生豆総輸出に占めるロブスタの割合は、前年同時期の36.6%から40.3%に増加した。
- 南米地域の6月の総輸出量は15.5%減の365万袋だった。要因として地域の2大生産国であるブラジルとコロンビアの輸出量が16.6%減少したことがある。
- アフリカ地域の全形態のコーヒー輸出量は、2022年6月の128万袋から2023年6月は127万袋に0.6%減少した。
- メキシコおよび中米地域の6月の輸出量は、前年6月の195万袋から4.6%減少して186万袋だった。
- アジアおよびオセアニア地域の輸出量は、2023年6月は0.5%増の363万袋、2022/23コーヒー年度経過9か月では2.9%増の3,535万袋だった。
- ソリュブルコーヒーの6月輸出量は、2022年6月の102万袋から8.1%減少して94万袋だった。
- 焙煎豆の6月輸出量は、2022年6月の71,282袋から11.3%増加して72,237袋となった。
- 世界のコーヒー生産量は、2021/22コーヒー年度が前年比1.4%減の1億6,850万袋だったのに対し、2022/23年度には1.7%増の1億7,130万袋に回復すると予想されている。
- 世界のコーヒー消費量は、2021/22コーヒー年度は4.2%増の1億7,560万袋、2022/23年度は1.7%増の1億7,850万袋と予想されている。
- その結果、世界のコーヒー市場は2年連続の供給不足が予想されており、2022/23コーヒー年度には730万袋の不足が見込まれる。

グリーンコーヒー価格

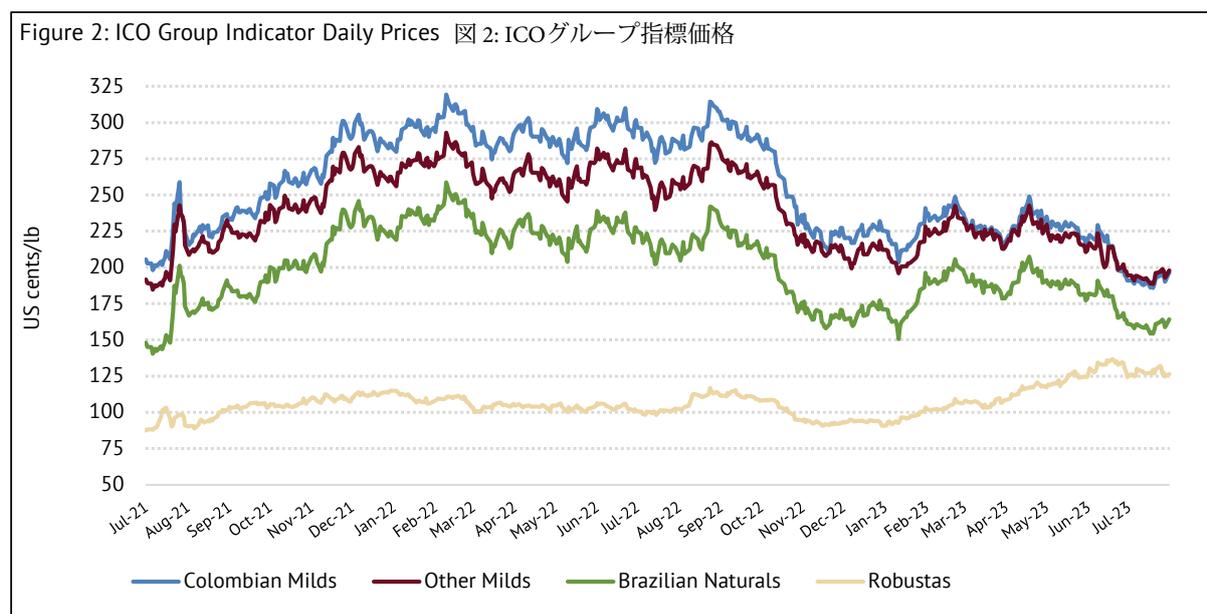
ICO複合指標価格 (I-CIP)

7月のICO複合指標価格(I-CIP)は6月から7.2%下落し、月間平均は171.25セント（USセント/ポンド、以下同様）、中央値は158.4セント、7月の価格レンジは155.65～162.64セントだった。



グループ指標価格

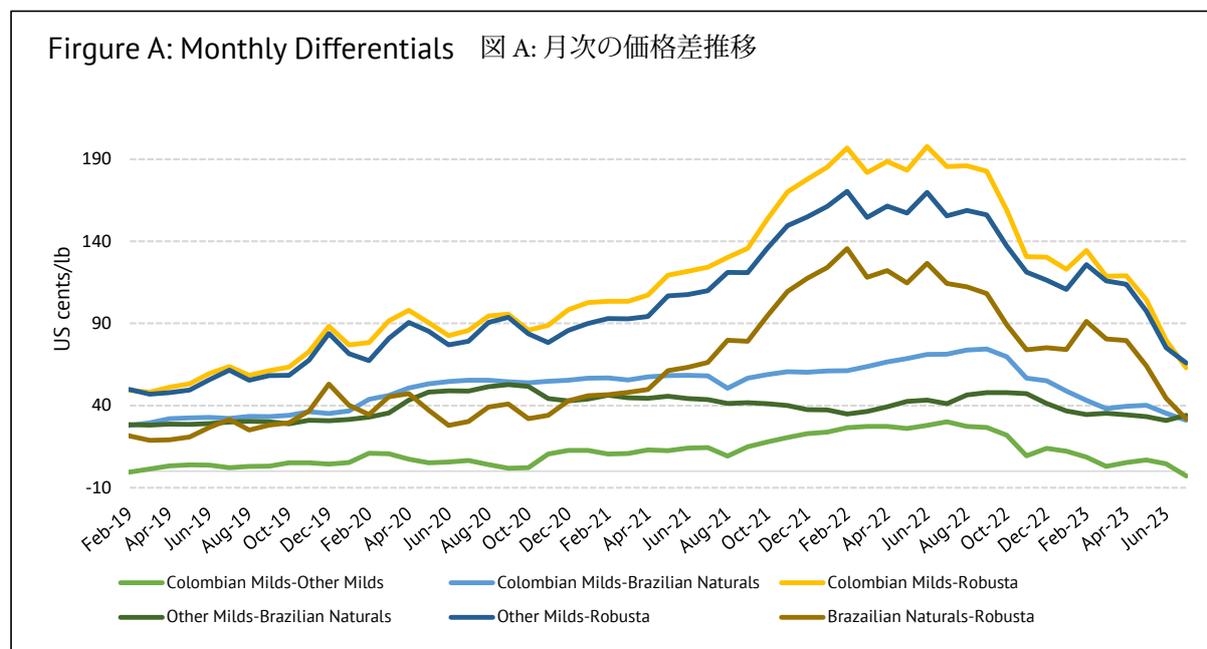
7月は全てのグループ指標価格が下落した。最も下落したのはコロンビアマイルドで10.0%下落して190.58セントだった。一方、ロブスタは3.4%下落し127.58セントで下落幅は最小だった。アザーマイルドとブラジルナチュラルは、それぞれ6.7%と9.6%下落し193.49セントと159.5セントだった。ニューヨーク先物市場とロンドン先物市場はそれぞれ8.6%と4.7%下落し159.57セントと113.62セントだった。



7月、ICO複合指標価格およびアラビカグループ指標価格は下落と上昇を繰り返した。7月3日から18日までの間、アラビカグループ平均は182.01セントから176.97セントに2.8%下落したが、7月18日から31日までは5.2%上昇し186.23セントとなった。ICO複合指標価格の場合、この期間の値動きは2.0%の下落と3.6%の上昇で、それぞれ157.96セントと160.11セントだったアラビカおよびI-CIPの上昇（回復）を牽引したのはブラジルナチュラルで、同時期の価格変動は、3.5%下落しその後6.0%上昇し、158.59セントから160.71セントだった。ブラジルナチュラルの変動要因は次の2つと言えよう。(i) 今シーズンのクロップが前年と比べて予定より前倒しで進んでいることを示唆するブラジルからのニュース。(ii) レアル為替の強含み。ブラジルのコーヒー輸出協同組合であるCooxupeは、7月21日時点でのクロップが58.8%完了し、昨年同時期の52.6%を上回り、ブラジルナチュラル価格に下落圧力が生じていると報告した。一方、レアル為替は7月末までに対米ドルで14カ月ぶりの高値に達した。更に、7月18日の4.81レアルから7月31日には4.73レアルまで上昇したことで、ブラジルナチュラルの輸出価格にさらに大きな上昇圧力が掛かり、クロップの前倒し進捗による下降圧力に勝ったと考えられる。

Differentials 価格差

コロンビアマイルドとアザーマイルドの7月の価格差は165.2%縮小してマイナス2.91セント（逆転）となった。コロンビアマイルドとブラジルナチュラルの価格差、コロンビアマイルドとロブスタスの価格差は、いずれも12.1%と21.0%縮小してそれぞれ31.09セントと63.0セントとなった。アザーマイルドとブラジルナチュラルの価格差は10.0%拡大して34.0セントとなり7月に唯一拡大した。アザーマイルドとロブスタの価格差は12.4%縮小して65.91セント、ブラジルナチュラルとロブスタの価格差は16.9%縮小して45.95セントだった。



コロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差がマイナスとなったのは、両者の価格が逆転し、マイナス0.52セントに低下した2019年2月以来である。コーヒーの価格、そして全ての商品やサービスの動きは需要と供給の状況を反映している。しかし、コロンビアマイルド

とアザーマイルドの価格差が縮小しマイナスになったことは、むしろ需要サイドの問題だったようだ。毎月の輸出量動向に見られる通り、コロンビアマイルドの需要（輸出量）は今年に入ってから現在まで減少しており、6月およびコーヒー年度経過9か月間の輸出量でそれぞれ2.9%と12.8%の減少だった。同時期のアザーマイルドもそれぞれ2.3%と10.6%減少している。本年度初め、コロンビアマイルドの需要減少はグループ最大の生産国であるコロンビアでの供給問題および広範な（価格）代替効果を反映していた。コロンビアの生産量は2022年10月に12%減少し、その後2023年6月には年初から8%減少したが、この減少要因としては、アザーマイルドと比べてコロンビアマイルドの価格が高かったことと、そして生活費全般が上昇したことの両方が原因とみられる。2022年10月時点で、両グループにとっての2大市場である米国とユーロ圏のインフレ率はそれぞれ7.7%と10.6%だった。加えて、基準金利は2022年暦年の初めにゼロ近くだったものが、10月/11月は2.75%と1.5%まで引き上げられた。これらの複合的な要因により需要は、より価格競争力を反映し、コロンビアマイルドに対してアザーマイルドの価格下落が相対的に小幅かつ減速したことでマイナスの価格差が生じたと考えられる。

アービトラージとボラティリティ

ロンドン先物市場とニューヨーク先物市場の間で測定されたアービトラージは、ロンドンロブスタの価格変動がニューヨークアラビカを上回ったため16.9%縮小して45.95セントとなった。これは44.73セントを記録した2020年6月以来の低い水準である。

ICO複合指標価格のボラティリティは一貫して下降し、7月は0.3ポイント低下して7.8%だった。ロブスタが現物価格の中で唯一プラス変動のボラティリティを示し、0.8ポイント上昇して9.0%となった。ボラティリティが最も大きく低下したのはブラジルナチュラルで、7月は0.4パーセントポイント低下して9.1%となった。コロンビアマイルドとアザーマイルドはそれぞれ8.1%と11.0%に低下した。先物市場のボラティリティは双方が逆方向に動き、ニューヨークアラビカ市場では0.5ポイント低下して9.1%に、一方、ロンドンロブスタ市場は1.0ポイント上昇し9.2%となった。

図3: ニューヨークとロンドン先物市場のアービトラージ

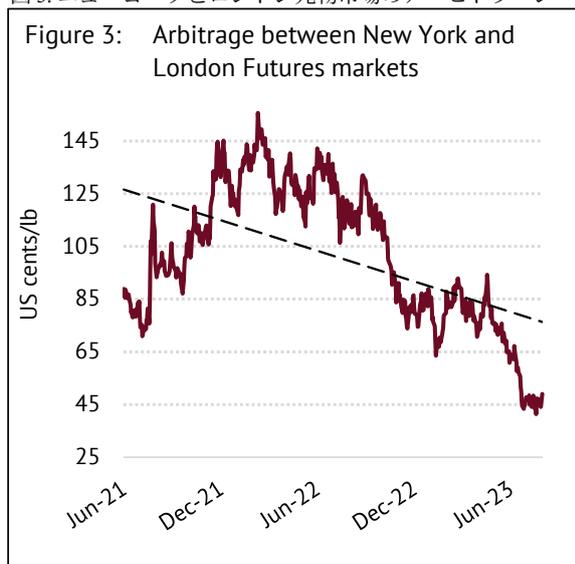
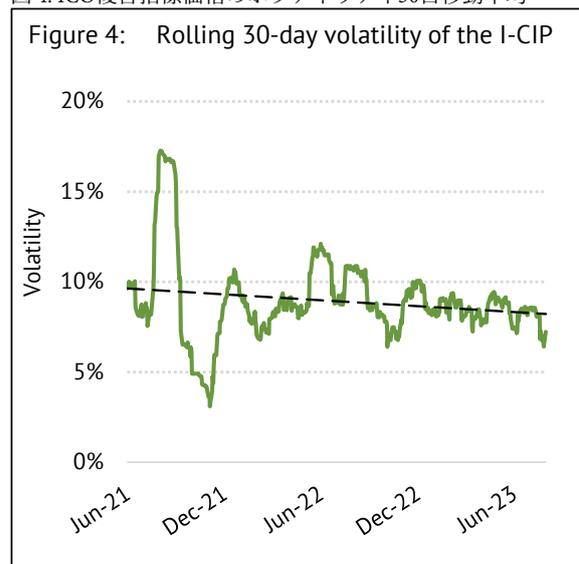


図4: ICO複合指標価格のボラティリティ30日移動平均



Certified Stocks 認証在庫

ニューヨークとロンドンの認証在庫はそれぞれ2.9%と29.4%減少し、ニューヨークアラビカは58万袋、ロンドンロブスタは89万袋だった。

コーヒーグループ別の輸出量 - グリーンビーンズ

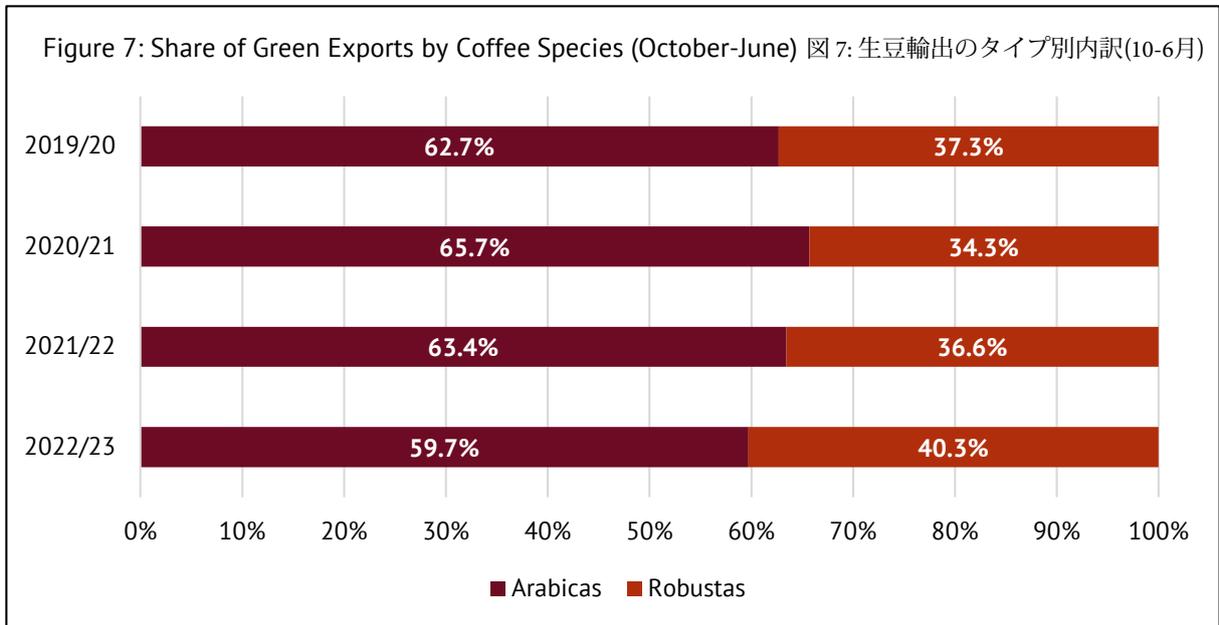
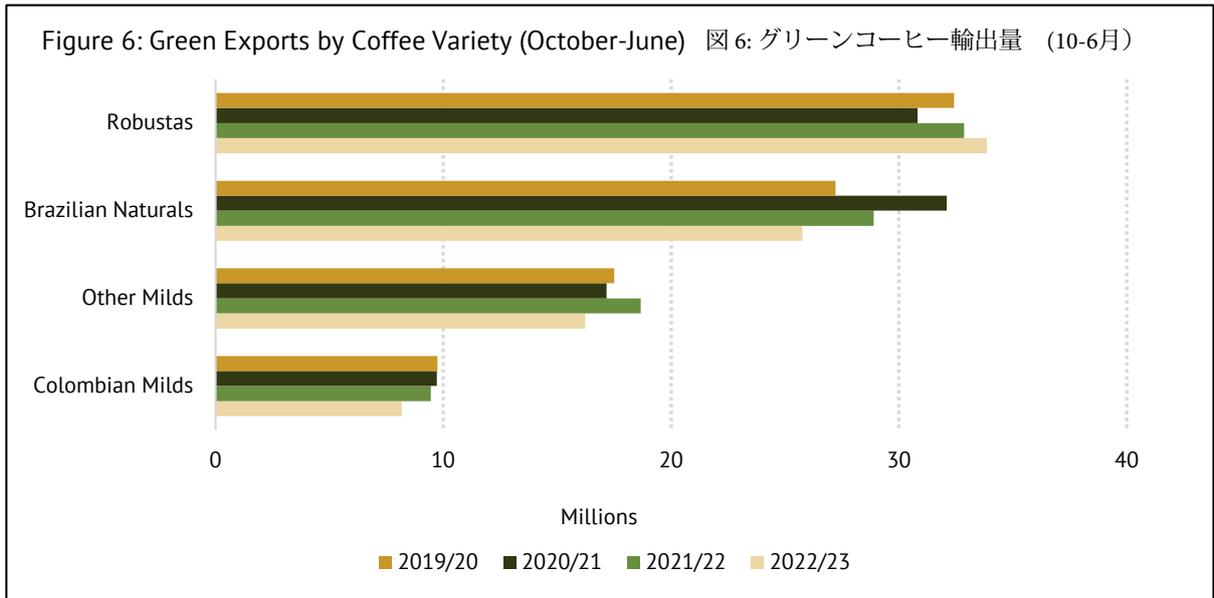
2023年6月の世界のグリーンビーンズ輸出量は939万袋で、前年同時期の1,006万袋に対して6.7%減少した。減少の主因はアラビカだった。2022/23コーヒー年度始めからアラビカのグリーンビーンズ輸出量は7か月連続で減少した。その結果、2022/23年度の6月までの累計は8,402万袋で、前年同時期の8,988万袋に対して6.5%減少した。

アザーマイルドの2023年6月の輸出量は前年同時期の288万袋から19.3%減の232万袋だった。累計輸出量は減少を続け、2022/23コーヒー年度の経過9か月では前年度同時期の1,867万袋から13.1%減少し1,623万袋となった。

ブラジルナチュラルの2023年6月の生豆輸出量は7.6%減の250万袋、2022/23コーヒー年度経過9か月間では2,576万袋で前年同期の2,890万袋から10.9%減少した。この減少はブラジルナチュラル最大の生産国かつ輸出国であるブラジルの生豆輸出の変動によるもので、6月の同国輸出量は前年6月の275万袋から229万袋（-16.6%）に減少している。

コロンビアマイルドの輸出量は、2022年6月の97万袋から2023年6月は84万袋に13.0%減少した。この減少は主たる生産国であるコロンビアによるもので、同国の生豆輸出量は2023年6月に19.3%減少している。コロンビアマイルドの輸出減少は12か月連続であり、その結果、2022年10月から2023年6月までの9か月累計輸出量は、前年度の同時期の945万袋に対して13.4%減の818万袋だった。

ロブスタの生豆輸出量は、2022年6月の351万袋に対して2023年6月には372万袋で6.1%増加した。ロブスタ輸出量は3か月連続で増加しており、その結果、2022年10月から2023年6月までの9か月累計輸出量は、前年度同時期の3,286万袋に対して3.0%増加して3,386万袋となった。2022/23コーヒー年度経過9か月での生豆輸出量全体に占めるロブスタの割合は、前年同時期の36.6%から40.3%に増加した。



地域別の輸出 - コーヒー全形態

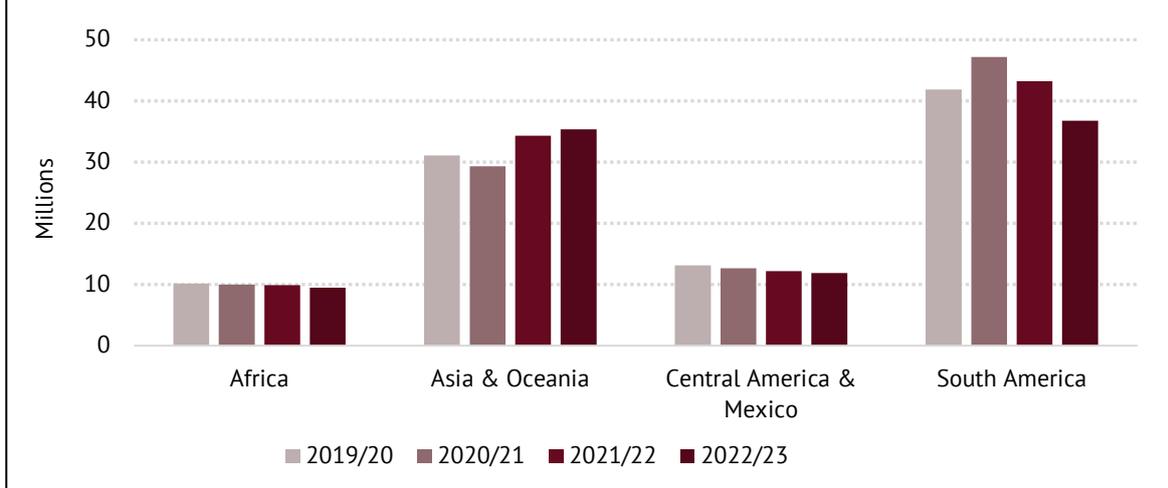
南米地域の2023年6月のコーヒー輸出量は15.5%減の365万袋だった。地域の主要生産国であるブラジルとコロンビアの減少が要因であり、2か国の合計輸出量は16.6%減少した。ブラジルとコロンビアの6月輸出量は、それぞれ15.5%減と20.3%減、264万袋と76万袋だった。ブラジルの輸出実績は依然として低水準だが、この背景には今季クロープが通常よりも前倒しで進んでいるにも拘わらず、2年連続で平年並みを下回るクロープが続いて相対的に供給量が限られていることが関係している（グループ指標価格の項参照）。コロンビアの場合、今コーヒー年度を通しての輸出低迷の背景として栽培地域での生産上の問題があるが、輸出減少の背景には他の要因も想定され現在表面化しつつある。それは（価格）代替効果の影響であり、コロンビアが最大生産国であるコロンビアマイルドに対する需要が、アラビカグループ間で、アザーマイルドに切り替わりつつあることだ（ディファレンシャルの項参照）。

アフリカ地域の輸出量は2022年6月の128万袋から2023年6月は127万袋に0.6%減少した。今コーヒー年度の経過9か月の累計輸出量は947万袋で前年度同時期の988万袋に対し4.2%減少した。輸出量の減少率は相対的に低いが、このために地域の各国レベルでの変動が見え難い状態だった。4つの生産国(ブルンジ、ケニア、タンザニア、ウガンダ)では、2023年6月に合計14.0%の輸出量増加を記録したが、他の2つの生産国(コートジボワールとエチオピア)は合計18.8%減少した。エチオピアは現地の購入価格と世界市場価格の不一致から生じた契約紛争が引き続き輸出量に悪影響を及ぼしており、輸出業者は紛争が解決するまでコーヒーの供給を保留している。ブルンジはアザーマイルドの生産国として、コロンビアマイルドとアザーマイルドの間の(価格)代替効果に主導された需要の恩恵を受けていると思われる。ウガンダの2023年6月の6.3%増加は同国南西部地域の豊作を反映したものだ。

メキシコおよび中米地域の6月の輸出量は、前年6月の195万袋から4.6%減少して186万袋だった。6月の減少は、現コーヒー年度の経過9か月において6回目となった。その結果、2022年10月から2023年6月までの総輸出量は1,187万袋となり、全年度同時期の1,217万袋に対して2.5%減少した。減少の主因はグアテマラとメキシコで、両国の2023年6月の輸出量はそれぞれ、2022年6月の48万袋と36万袋に対して、16.7%減と21.6%減の40万袋と28万袋だった。

アジアおよびオセアニア地域の輸出量は、2023年6月が0.5%増の363万袋、2022/23コーヒー年度の経過9か月累計では2.9%増の3,535万袋だった。ベトナムが地域の輸出量増加を牽引し、2022/23年度の累計コーヒー輸出量は6.0%増加して2,413万袋だった(前年度同時期は2,276万袋)。これまでのところ、ベトナムの堅調な輸出実績は、進行する生活費の高騰を背景に、より安価なロブスタへの需要シフトを反映している(ディファレンシャルの項参照)。一方、この12か月間の輸出量は減速傾向にあり、増加率は2022年10月の12.5%から2023年6月の4.2%まで減速している。これはアラビカとロブスタの価格差の縮小が、ロブスタコーヒーの最大の生産国かつ輸出国であるベトナムコーヒーへの需要に対して影響を与えていることを示唆している。ソリュブルコーヒーに占めるブレンド割合はアラビカの使用量が相対的に多くなる傾向を示している。

Figure 8: Total Exports by Producing Regions (October-June) 図 8: 生産地域別輸出量 (10-6月)

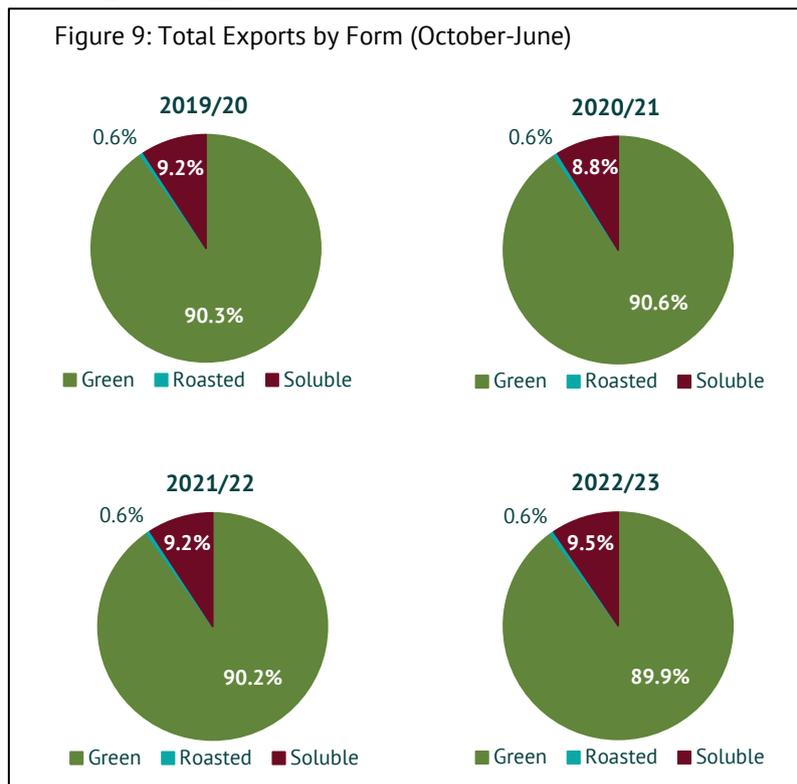


形態別のコーヒー輸出量

ソリュブルコーヒーの輸出量は、2022年6月の102万袋に対し2023年6月は8.1%減少し94万袋だった。2022/23コーヒー年度の経過9か月間では886万袋で、前年度同時期の916万袋に対して3.2%減少した。全形態のコーヒー輸出量に占めるソリュブルコーヒーのシェアは、2023年6月時点で9.5%で前年同時期の9.2%から増加した。ブラジルはソリュブルコーヒー最大の輸出国で6月の輸出量は34万袋だった。

焙煎豆の輸出量は、2022年6月の7万1,282袋に対し2023年6月は11.3%増の7万2,237袋だった。2022/23コーヒー年度の6月までの累計は56万袋で前年度同時期は61万袋だった。

図 9: 形態別輸出量 (10-6月)



生産量と消費量

2021/22年度および2022/23年度のコーヒー生産量と消費量の推定値および見通しに変更は無い。

2021/22コーヒー年度の世界コーヒー生産量は前年度比1.4%減の1億6,850万袋だった。裏年の隔年結果および多くの主要生産国での悪天候が減少要因となった。しかし、2022/23年度には1.7%増の1億7,130万袋に回復すると予想されている。世界的な肥料コストの上昇と悪天候により、ブラジルの表年の隔年結果の生産量増加が部分的に相殺されることが想定され、このために2022/23年度における生産量増加率は比較的低いものとなっている。アラビカの2022/23コーヒー年度生産量は前年度の7.2%減少に対して4.6%増加の9,860万袋と予想され、表年の隔年結果の好影響が見込まれる。生産量の循環的な変動を反映して、コーヒー総生産量に占めるアラビカのシェアは、2021/22年度の55.9%から2022/23年度は57.5%に増加すると予想される。南アメリカ地域の生産量は2021/22コーヒー年度に7.6%減少を記録し、ほぼ20年ぶりの大幅な生産量減少となったが、現在そして今後も世界最大のコーヒー生産地域であり続けるだろう。2022/23コーヒー年度は隔年結果の影響もあり回復が見込まれ、地域の生産量は6.2%増の8,240万袋に達すると予想されている。

2021/22年コーヒー年度の世界のコーヒー消費量は、2020/21年度の0.6%増に続き、4.2%増の1億7,560万袋だった。新型コロナウイルスの流行時期に蓄積した需要の顕在化と、2021年の6.0%という急激な世界経済の成長によって、2021/22年度におけるコーヒー消費量の急激な回復を示した。2022年および2023年の世界経済の減速は、生活費の劇的な上昇と相まって2022/23年度のコーヒー消費量に影響を与えるだろう。消費量は増加が見込まれるものの、その増加率は1.7%に減速して消費量は1億7,850万袋と予想される。世界的なコーヒー消費の減速は非生産国に起因していると想定され、ヨーロッパ地域のコーヒー消費量の減速が最も著しい。同地域の消費量は2021/22コーヒー年度の6.0%増から2022/23コーヒー年度は0.1%増に低下すると予測されている。

その結果、世界のコーヒー市場の需給関係は2年連続の供給不足と予想され2022/23年度は730万袋の不足が見込まれる。

(後略)

表 1: ICO 指標価格と先物価格 (US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
Monthly averages							
Jul-22	190.82	286.07	255.91	214.80	100.44	210.84	89.60
Aug-22	200.11	295.66	268.43	221.91	109.65	218.53	98.75
Sep-22	199.63	294.09	267.49	219.59	111.36	218.24	100.49
Oct-22	178.54	261.95	240.08	192.27	103.01	191.72	92.16
Nov-22	156.66	223.22	213.85	166.54	92.59	164.80	82.67
Dec-22	157.19	224.12	210.24	169.00	93.76	166.21	83.95
Jan-23	156.95	218.91	206.76	170.03	95.98	159.80	85.82
Feb-23	174.77	238.39	229.73	195.18	103.93	180.93	94.26
Mar-23	170.03	225.23	222.36	187.02	106.49	176.17	96.60
Apr-23	178.57	234.85	229.56	195.26	115.70	187.30	105.43
May-23	175.48	226.93	220.12	186.80	122.55	183.13	112.56
Jun-23	171.25	211.85	207.39	176.48	132.13	174.54	119.23
Jul-23	158.88	190.58	193.49	159.50	127.58	159.57	113.62
% change between Jun-23 and Jul-23							
	-7.2%	-10.0%	-6.7%	-9.6%	-3.4%	-8.6%	-4.7%
Volatility (%)							
Jun-23	8.1%	8.2%	11.1%	9.5%	8.2%	9.6%	8.2%
Jul-23	7.8%	8.1%	11.0%	9.1%	9.0%	9.1%	9.2%
Variation between Jun-23 and Jul-23							
	-0.3	-0.1	-0.1	-0.4	0.8	-0.5	1.0

* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 2: 価格差 (US cents/lb)

	Colombian Milds Other Milds	Colombian Milds Brazilian Naturals	Colombian Milds Robustas	Other Milds Brazilian Naturals	Other Milds Robustas	Brazilian Naturals Robustas	New York* London*
Aug-22	27.23	73.75	186.01	46.52	158.78	112.26	119.79
Sep-22	26.60	74.50	182.74	47.90	156.13	108.23	117.74
Oct-22	21.87	69.68	158.94	47.82	137.07	89.25	99.56
Nov-22	9.37	56.68	130.63	47.31	121.26	73.95	82.13
Dec-22	13.88	55.12	130.36	41.24	116.48	75.24	82.26
Jan-23	12.15	48.88	122.93	36.73	110.78	74.05	73.97
Feb-23	8.66	43.21	134.46	34.55	125.80	91.25	86.67
Mar-23	2.87	38.21	118.74	35.34	115.87	80.53	79.57
Apr-23	5.30	39.60	119.15	34.30	113.86	79.56	81.88
May-23	6.81	40.13	104.38	33.32	97.57	64.25	70.57
Jun-23	4.46	35.36	79.72	30.90	75.26	44.36	55.31
Jul-23	-2.91	31.09	63.00	34.00	65.91	31.92	45.95
% change between Jun-23 and Jul-23							
	-165.2%	-12.1%	-21.0%	10.0%	-12.4%	-28.1%	-16.9%

* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 3: 世界のコーヒー需給バランス

Coffee year commencing	2017	2018	2019	2020	2021	2022*	% change 2022/21
PRODUCTION	167,568	169,884	168,387	170,868	168,485	171,268	1.7%
Arabica	97,862	99,615	96,670	101,577	94,248	98,559	4.6%
Robusta	69,707	70,269	71,717	69,290	74,237	72,709	-2.1%
Africa	17,428	18,523	18,698	19,281	19,132	19,405	1.4%
Asia & Oceania	52,214	48,069	49,307	47,912	52,102	49,713	-4.6%
Mexico & Central America	21,475	21,361	19,321	19,747	19,655	19,726	0.4%
South America	76,453	81,934	81,064	83,937	77,596	82,424	6.2%
CONSUMPTION	165,637	170,876	167,593	168,569	175,605	178,534	1.7%
Exporting countries	51,575	52,234	51,441	52,518	53,615	55,369	3.3%
Importing countries (Coffee Years)	114,062	118,642	116,152	116,051	121,991	123,165	1.0%
Africa	11,707	11,921	12,034	12,552	12,877	13,403	4.1%
Asia & Oceania	38,819	39,572	39,198	41,289	42,828	44,162	3.1%
Mexico & Central America	5,667	5,805	5,857	5,882	5,967	6,124	2.6%
Europe	53,523	55,449	53,953	52,237	55,359	55,388	0.1%
North America	29,939	31,789	30,581	30,228	31,679	32,078	1.3%
South America	25,981	26,340	25,969	26,381	26,895	27,379	1.8%
BALANCE	1,932	-992	794	2,298	-7,120	-7,266	

*preliminary estimates

表 4: 輸出国の総輸出货量

	Jun-22	Jun-23	% change	Year to Date Coffee Year		
				2021/22	2022/23	% change
TOTAL	11,155	10,408	-6.7%	99,641	93,444	-6.2%
Arabicas	7,123	6,238	-12.4%	62,032	55,286	-10.9%
<i>Colombian Milds</i>	1,070	915	-14.5%	10,316	8,992	-12.8%
<i>Other Milds</i>	3,080	2,586	-16.1%	20,624	18,442	-10.6%
<i>Brazilian Naturals</i>	2,973	2,738	-7.9%	31,092	27,852	-10.4%
Robustas	4,032	4,170	3.4%	37,609	38,159	1.5%

In thousand 60-kg bags

Monthly trade statistics are available upon subscription

表 5: ニューヨークとロンドン先物市場の認証在庫

	Aug-22	Sep-22	Oct-22	Nov-22	Dec-22	Jan-23	Feb-23	Mar-23	Apr-23	May-23	Jun-23	Jul-23
New York	0.72	0.45	0.41	0.59	0.87	0.91	0.86	0.80	0.74	0.66	0.60	0.58
London	1.61	1.59	1.52	1.45	1.08	1.04	1.19	1.27	1.31	1.39	1.25	0.89

In million 60-kg bags